



Flash News

〈フラッシュニュース〉

三重大学

第32号

目次

- 三重県と「災害対策相互協力協定」締結
- 「三重大学東京オフィスの開所式」を挙行
- 「環境ISO14001」の認証取得に向けて
- 「三重大学アジア・パシフィックにおける食糧戦略センター（仮称）」に向けた勉強会
- 医学部長表彰
- 教育学部主催・防犯講習会
- 第3回外部評価を実施
- 国際交流サロンで映画会
- 2005フォーラム・オン・キャンパス
- 附属図書館で留学生対象「図書館ツアーとネットワークPC利用ガイダンス」を実施
- タイ津波調査

三重県と「災害対策相互協力協定」締結

本学は、12月21日、三重県と大規模自然災害発生時に相互の協力を図るため、標記協定を締結しました。調印式は、県庁舎のプレゼンテーションルームで豊田学長、野呂知事および関係者の出席のもとに開催され、引き続き記者会見が行われました。これまでも本学の災害対策プロジェクト室と県の防災危機管理局とは地域防災に取り組んできましたが、この協定は災害時に必要な活動の大枠を定めた下記の5項目となっております。県と国立大学法人の標記協定締結は全国でも珍しいもので、今後は、県と活動細目について協議検討していく予定です。

- 1) 災害発生時における被災者を支援するための要員確保等の体制整備
- 2) 避難住民受け入れに伴う支援
- 3) 救助要員の活動拠点や物資等の集積又は集配場所としての支援
- 4) 被災者受け入れに伴う医療支援
- 5) 他の協力要請事項



写真：左から野呂知事 豊田学長

「三重大学東京オフィスの開所式」を挙行

本学は、産学官連携等の新たな活動拠点として、東京都江戸川区のコラボ産学官プラザin Tokyoに「三重大学東京オフィス」を開所し、12月6日に企業や三重県関係者、同窓会関係者ら100名を超える出席者を迎え開所式を行いました。式では、豊田長康学長から、これを契機に首都圏における産学連携を推進して行きたいとの強い決意が述べられ、伊藤学司文部科学省技術移転推進室長、横山昭司三重県東京事務所長の来賓挨拶の後、三重県出身の伊藤ハム（株）伊藤正視代表取締役社長による「未来からやって来たエリートへ」と題した記念講演が行われました。その後、各副学長から本学の社会連携への取り組み、各学部長等による学部の将来構想等について紹介があり、引き続き交流会が盛況に行われました。今後、東京オフィスは、首都圏における教職員の活動拠点となるとともに、入試・就職に係る広報活動や同窓生の交流機会の場としての役割も担っていきます。

「環境ISO14001」の認証取得に向けて

本学は環境先進大学づくりを目指し、平成19年度中に環境ISO14001認証取得の方針を決定しました。学生に対する環境教育を中心とした環境マネジメントシステムを運用することを基本とし、2006年2月21日、「学生参加型によるキックオフ宣言」を行います。11月30日生協第一食堂2階において学生ワークショップが開催され、環境ISOコンサルタントとして活躍中の都倉知宏、奥山哲也両氏を講師に招き、約100名の学生が環境ISOの基本などを学びました。今後は、共通教育4号館1階に学生委員会室が設置され、活動を進めるための勉強会などがそこを拠点として行われる予定です。

「三重大学アジア・パシフィックにおける食料戦略センター（仮称）」に向けた勉強会

12月7日、「『三重大学アジア・パシフィックにおける食料戦略センター（仮称）』のための勉強会」が東京オフィスで開かれました。今回は食料戦略センター（仮称）を国際交流センターの研究部門の1つとして創り上げるための最終準備段階として、本学から参加した国際交流センター長と生物資源学部の関連教員と日本の食料戦略に関わる専門家が一同に集い、設計目標などが話し合われました。

医学部長表彰

医学部「医水学部準硬式野球部」が、平成17年度東海地区大学準硬式野球部春季リーグ戦において8勝2敗という好成績で2部リーグ優勝、また、入れ替え戦においても日本福祉大学を破り、見事1部リーグへの昇格を果たしました。これを受け、医学部長表彰規定に基づき、教授会において医学部長表彰を行うことが承認され、11月11日に表彰式が挙行されました。



教育学部主催・防犯講習会



11月16日、教育学部主催の標記講習会が、津警察署生活安全課の浜田警部補と笠井巡查部長を招き、第一体育館北側のトレーニング場で開催されました。講話では、津駅前から本学までが防犯の重点地区になっていること、夜の一人歩きは避けること等が話され、護身術指導では、後ろから急に抱きつかれた時の対処法、前から腕を捕まめられたり胸ぐらを取られたりした時の対処法を練習しました。参加した40名の学生および教職員からは、「もっと練習したい。」という声がたくさん上がりました。

第3回外部評価を実施

人文学部では、11月30日に第3回外部評価を実施しました。今回は評価委員に、公立高校の校長先生3名、私立高校の学監の先生、そして、予備校の教育研究部長にお願いし、「入試方法」「カリキュラム」「進学関係の広報」「高校と大学の連携」について評価を受けました。生徒を送り出す側から見た厳しいご指摘、並びに有益なご助言をいただきました。詳しい評価結果は追って人文学部のホームページ上で公開いたします。

国際交流サロンで映画会

11月30日、国際交流サロン（附属図書館2階）において、開設以来初の試みとして留学生への支援活動をしているクラブサークル「てらこや」の協力を得て“ウォーターボーイズ”の映画鑑賞会を行いました。参加者の半数は留学生で日本語のヒアリングも支障なく楽しく鑑賞できたと好評でした。今後も本学に学ぶ留学生、日本人学生交流の場として国際交流サロンが利用されることを希望しています。

2005フォーラム・オン・キャンパス

2005年度産学官研究交流フォーラム・オン・キャンパスが、12月2日に本学三翠ホールにおいて開催されました。1996年から三重県などとの共催により現在の形となり、今回で10回目を迎えます。三重県内の世界に誇れる企業や大学、高等専門学校、研究機関の“匠”の技術・アイデア・製品・研究成果が一堂に会し、68ブースの出展（本学からは28ブース）がありました。会場内の実演コーナーも充実し、シャープ（株）から借りた大型液晶テレビも反響を呼んでいました。

附属図書館で留学生対象「図書館ツアーとネットワークPC利用ガイダンス」を実施



12月7～8日、国際交流課、総合情報処理センターの協力により、「国際交流サロン」などを会場に、留学生対象の「図書館ツアーとネットワークPC利用ガイダンス」を実施し、約20名の留学生が参加しました。平易な日本語による説明に加え、英語・中国語でも補足説明がされ参加者から「とても丁寧だった」と好評でした。また、英語の図書や辞書、母国語の新聞の充実、図書館開館時間の延長などについて多くのリクエストが寄せられました。図書館では、今後も欧文文献データベース・電子ジャーナル講習会を英語で実施するなど、留学生サービスの向上を目指していく予定です。

タイ津波調査

12月7日～11日、本学災害対策プロジェクト室（川口助教授）と国際交流センター（医学部看護学科：櫻井しのぶ教授、宮田さおり助手、中川一郎客員教授）は、約1年前に発生したインド洋大津波で大きな被害を受けたタイ南部（プーケット、カオラックおよびナムケン）の調査を、藤田大輔教授・大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター、アマット教授・チュラロンコン大学と合同で行いました。今回の調査は、津波後1年を経た観光地の現状と課題および地域住民のPTSDに関して、現地の役所および小学校で行ったもので、今後も継続的に訪問先と情報交換等を行い、三重県で発生が危惧される地震・津波対策に役立てるとともに、津波被災地のために定期的に交流できること等を検討していく予定です。



投稿のお願い

各種事項（大学教育・研究、地域連携、国際交流、学内事業等）に関するフレッシュなニュース提供をお待ちしています。

亀岡孝治 (vpre-info@mie-u.ac.jp) または 井上真理子 (mariko-j@ab.mie-u.ac.jp) まで。場合によっては、取材に向きます。

《フラッシュニュースのバックナンバーは、三重大学ホームページで (<http://www.mie-u.ac.jp>) ご覧いただけます。》 編集責任者 / 理事・副学長 渡邊悌爾